

## ほっとムラサキの効果確認試験



JA夕張市

原 広志



慣行区① 5月撮影



慣行区② 5月撮影



試験区① 5月撮影



試験区② 5月撮影

## 試験目的

ほっとムラサキの効果確認試験

試験作物  
及び品種

メロン

試験資材  
及び数量(規格)

ほっとムラサキ(0.025mm×180cm×200m) 4本

## 慣行資材

あったかセラマルチ

## 栽培方法

## 定植日

慣行区:4月上旬  
試験区:4月上旬

## 資材使用期間

3月~7月

## 試験区面積

160㎡

## 試験結果

## (1)作業性について(慣行品との比較)

慣行品との差は見られなかった。

## (2)作物の生育状況または、収穫への影響

試験品の方が初期成育では遅れ気味で推移していたが、中盤以降追いつき、最終的には逆転した。  
収量の調査はしていないので、収量にどれだけ影響があったかは判然としない。

## (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【問題点】: 初期成育が遅れて推移すること。

## (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

慣行品との差は見られなかった。

## (5)促成・抑制効果について

初期の生育は遅れたが、中盤以降追いついたことから促成効果はあると思われる。

## (6)保温効果について

慣行品との差は見られなかった。

## (7)雑草・病害虫の発生について

慣行品との差は見られなかった。

## モニター感想

今回の試験において、最終的には試験区の生育は良かったものの、初期成育が遅れる部分が非常に気になった。

保温性は、さほど変わらないように感じたが、マルチの内側の水滴が少なかったことから、初期成育に影響を与えたものと思われる。

ハウスの管理棟数が多いため灌水方法を変更することは考えていない。

春先の低温時に試験品を使用した場合は初期成育が大幅に遅れるのではないかと考える。

## JA担当者の感想(生産資材課 武田課長)

今回の試験では、ほっとムラサキマルチは中盤以降の促成効果があると思われるが、初期生育が遅れる部分があるようなので、春先の低温時の生育状況とマルチ内側の水分の状態の確認が更に必要ではないかと思われます。

価格面では慣行品に十分対抗できる価格帯だと思われれます。

## 今後の使用について

継続して使用したい。

春先の天候を選ばずに使用できればよいが、単年では判断できなかったため、継続して使用する。

1 高温対策

2 青虫忌避効果

3 調光フィルム

4 3Dネット広幅

5 クリーンシート

6 マルチ

7 不織布

8 育苗資材

9 酪農資材

10 その他